

科目番号	25-302-74	学期	A	単位数	2	
法学部との合併	有	法科大学院との合併	無	受入学生	修博	
他コースとの合併	無	他研究科との合併	無			
担当教員	神作 裕之、飯田 秀総					
題目	金融商品取引法					
授業の目標・概要等	金融商品取引法に関する理論と実務を体系的に理解し、資本市場のあり方を考察することが、本授業の目標である。研究者による講義のみならず、実務家をゲストスピーカーに招いて、実務についての理解を深める回を複数回予定している。					
授業計画	<p>下記の予定であるが、若干の変更があり得る。</p> <p>第1回 総論（1） 金商法の目的、金商法の体系・規制の概要、有価証券概念など</p> <p>第2回 総論（2） 資本市場の概観：エクイティ・ファイナンスとデット・ファイナンスなど</p> <p>第3回 開示規制（1） 発行開示規制</p> <p>第4回 開示規制（2） 継続開示規制</p> <p>第5回 開示規制（3） 開示規制違反に関する民事責任、課徴金、刑事罰</p> <p>第6回 開示規制（4） 委任状勧誘・大量保有報告規制・公開買付け（1）</p> <p>第7回 開示規制（5） 公開買付け（2）</p> <p>第8回 金融商品市場の仕組みと自主規制 金融商品取引所の仕組み、取引所規則とコーポレートガバナンス、スチュワードシップコードなど</p> <p>第9回 不公正取引規制（1） インサイダー取引規制</p> <p>第10回 不公正取引規制（2） 相場操縦、損失補填、一般的な詐欺禁止規定など</p> <p>第11回 証券会社の金商法実務 IPO、増資、M&A、投資者の勧誘、ディーリング業務の実態など</p> <p>第12回 投資勧誘の規制 行為規制：適合性の原則、説明義務など顧客保護に関する諸ルール</p> <p>第13回 業規制 金融商品取引業の登録制度、開業規制、業務規制、投資者保護基金など</p>					
授業の方法	講義					
成績評価の方法	筆記試験による					
教材・主要文献等	山下友信＝神田秀樹編『金融商品取引法概説(第2版)』（有斐閣、2017）					

履修上の注意	特になし。
使用言語	日本語
開講年度の予定	

※先端ビジネスロープログラム指定科目